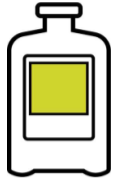



～ 治療スケジュール ～

お薬の名前	1日目	2～21日目
●グラニセトロン ●デカドロン	 30分	お休み
ドセタキセル (ドセタキセル)	 60分	お休み

治療中の注意点

点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合はお知らせ下さい。

気分が悪い、寒気、動悸、息切れ、顔や体がかゆいなどの症状が現れた場合はお知らせ下さい。

起こりやすい副作用

■白血球・好中球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があります。

治療開始後1～3週間頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を行い、白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

■貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつき、倦怠感、息切れ、動悸などの症状があらわれることがあります。

場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

■血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。

血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

■悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療薬や症状に合わせて吐き気止めを使います。

食事や水分がとれない、または、1日4回以上吐いた場合は連絡してください。

⇒食欲がなくても、脱水を防ぐため水分はしっかりとるようにして下さい。また、無理せず食べたいものを食べられる量だけ取るようにしましょう。

■脱毛

お薬の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2~4週間後から抜けやすくなります。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了、あるいは脱毛の起こりにくいお薬に切り替えた場合は少しずつですが生えてきます。⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

■皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。症状が強く出た場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

■浮腫

顔や手足がむくむことがあります。

■口内炎

治療開始2週間ほどで口の中が痛い、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります。うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがありますが、痛みで食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

■関節痛・筋肉痛

一時的に肩や背中、腕や腰または関節などに筋肉痛のような症状が出る場合があります。場合によっては、痛み止めを使います。⇒痛いところを温めたり、マッサージをしてみましょう。

■末梢神経障害

治療回数が増えると徐々に手足にしびれや痛み、感覚異常が出てくる場合があります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかる場合があります。⇒字が書きにくい、物をつかみにくいなど日常生活に支障が出た時は、早めに主治医に相談して下さい。

■肝機能障害

肝臓の働きが低下し、黄疸（皮膚や白目の部分が黄色くなる）や倦怠感が出る場合があります。そのため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。お酒やサプリメント、健康食品でも肝臓の働きが低下することがあるので、服用中の方は、医師や薬剤師に相談して下さい。

！連絡をいただきたい症状！

- 38℃以上の発熱があるとき。
- 食事や水分をとれないほどの吐き気や嘔吐があるとき。
- 1日7回以上の下痢があるとき。
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じる時。（間質性肺炎）